

# 未来へ羽ばたけ！ 新成人

## ～誓いの言葉(要約)～

私たちは、大人への一步を踏み出すために、今日までたくさんの恩師、地域の皆さま、家族に、時に厳しいご指導、包み込むような心からの温かいお言葉をいただきました。その一つ一つが私たちの糧となり、今日という日を迎えられたことに深く感謝いたします。

昨年は、復興に向けて歩み始めた年でした。まだ全てではありませんが、一つずつ着実に前へと進み出しています。元通りの町の姿に戻すことは、なかなか難しいですが、新しく創り上げていくことはできます。益城町を大切に思う気持ちを、次の世代へと伝えていくことが、私たちの使命だと感じています。

大切なことは、当たり前だと思っていることの中にあります。日常に目を向け、そこから見つけ出していかなければなりません。これから社会に出て、ここに集う新成人それぞれが、自分の色を、それぞれの場所で輝かせて、益城町に光を当てられるよう、自分の人生を自分らしく歩んでいきます。

益城町のために、何か小さなことからでも貢献できるよう、精一杯努力することをここに誓います。

益城町成人式が1月7日、町文芸会館で開催され、275人(男131人、女144人)が新たな希望を胸に、新成人として、晴れて大人の仲間入りをしました。駐車場の沿道や玄関前では、久しぶりに再会する仲間たちが満面の笑顔で喜びの歓声を上げる場面が、多く見られました。

静粛のうちに行われた式は、新成人の青木功さん(辻の城団地)と押川桜さん(小峯)が進行役を務めました。

西村町長が、式辞で「先人たちが幾多の試練を乗り越えてきたように、決して臆することなく、皆さんのあふれる『若さ』と『勇氣』でさまざまな困難を乗り越えて

いただきたい。今回の地震を通して経験し、学んだことを忘れず、夢、希望、信念を持って、自身自身の目標に向かって前進してください」と新成人を激励すると、代表で前田智行さん(小谷)が町長から記念品を受け取り、松本英里香さん(平田下)が交通安全宣言を、山名陸斗さん(広崎2町内)が誓いの言葉を力強く述べ、大人としての決意をあらためて表しました。

式が終了しても、成人式を迎え友人らと再会した若者たちの喜びはなかなか収まらず、玄関前では写真撮影おしゃべりがしばし続いています。

(写真左から) 松本さん、山名さん、青木さん、押川さん、前田さん